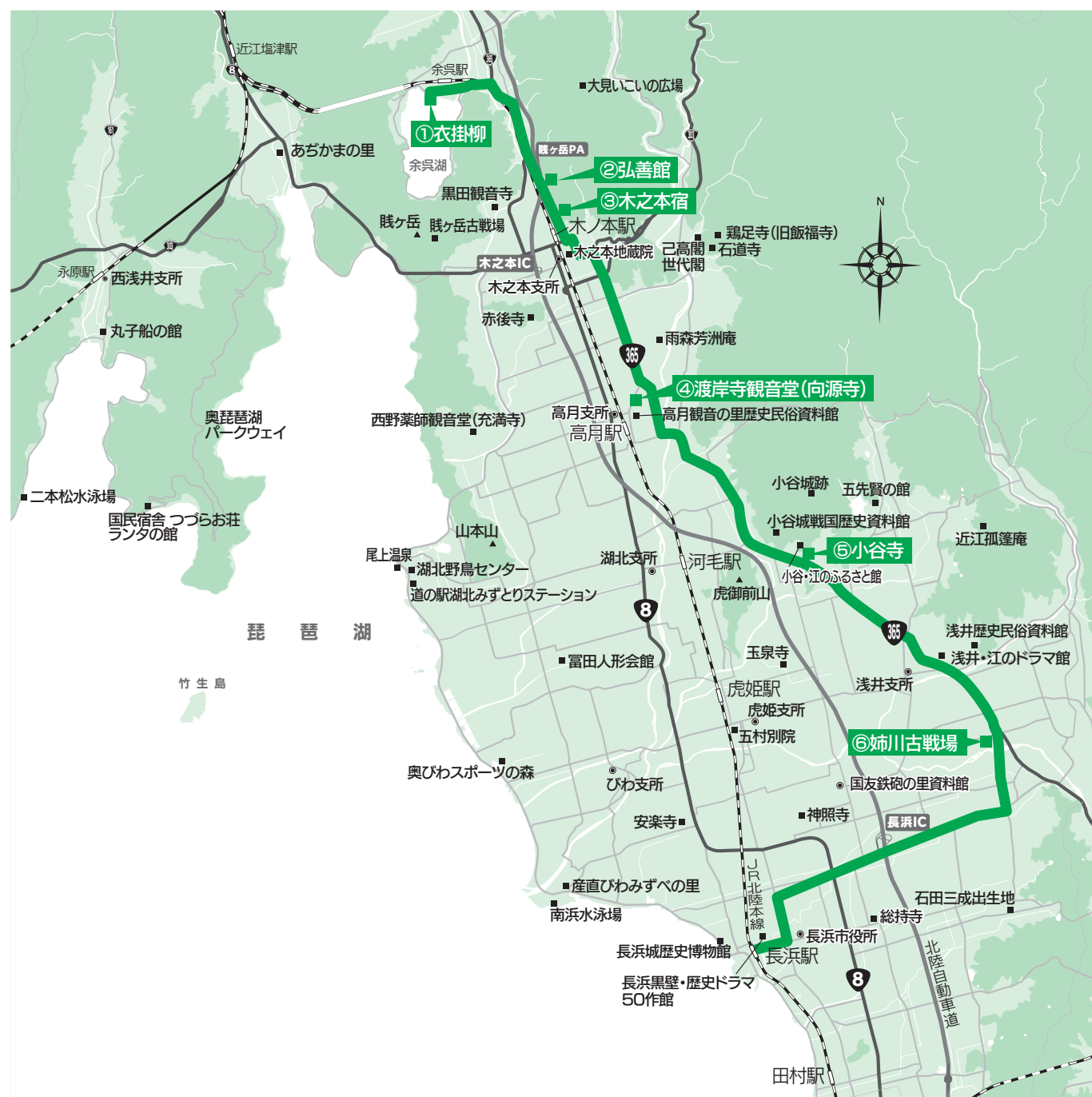
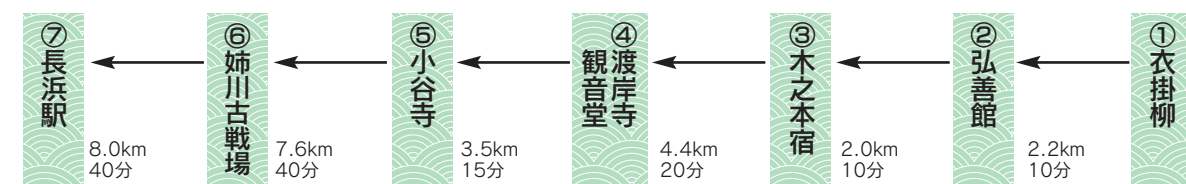




信長、秀吉が駆け抜け、市や三姉妹も通った北国脇往還をたどる



③木之本宿

北国街道の宿場町として賑わった家並みには古い商家や造り酒屋等があり、今も歴史を感じさせる。



②弘善館

菅原道真ゆかりの寺、菅山寺の里坊。十一面観音菩薩像や菅公が11歳のときに詠んだとされる五言詩など菅山寺の寺宝が展示されている。拝観については余呉町観光協会に問合せが必要。



①衣掛柳

天女伝説でも有名な余呉湖の北岸に、天女が羽衣を掛けたと伝えられる柳の木が残っている。



⑥姉川古戦場

戦国時代、浅井長政と織田信長の間に生まれた固執から始まった姉川の合戦。激戦の末、浅井・朝倉軍は、小谷城へ敗走した。この合戦により多くの兵士が血を流し、一帯を真っ赤に染めたことから血原、血川という地名が残っている。



⑤小谷寺

もともとは小谷山の山頂にあったが、小谷城築城の際に小谷城下に移転された。3代にわたり浅井家の祈願所であったが、浅井家の滅亡とともに焼失。その後豊臣秀吉により再建された。



④渡岸寺観音堂(向源寺)

お堂に安置されている十一面観音は全国に7体ある国宝十一面観音の中で最も美しいとされ、作家井上靖氏もそのすばらしさに感動し、著書『星と祭』でも紹介されている。

レンタサイクル活躍中！



市内の各駅前などでレンタサイクルの貸し出しを行っています。

自転車の底力！



市から宮城県気仙沼市に送られた新品自転車50台

地震による道路の損壊やガソリン不足により移動が困難になる中、自転車が大きな役割を果たしています。



秀吉の「大垣大返し」と「三姉妹街道」

姉川の合戦の際、羽柴秀吉は大垣～賤ヶ岳間13里（約52キロ）を1万5000人の兵を引き連れ、約5時間で駆け抜けた。これに動揺した柴田勝家はあえなく敗退。この「大垣大返し」の際に通ったのが脇往還である。また、お市の方が尾張から浅井家に嫁ぐ際に通ったのも、三姉妹が美濃や越前へ向けて通ったのもこの道であるとされ、江・浅井三姉妹博覧会実行委員会では、「三姉妹街道」と名付けてアピールしている。

北国脇往還は福井県から続く北国街道と中山道とを連絡する脇街道。もともとは「北国海道」、「越前路」、「北国道」などと呼ばれていたが、明治以降、「北国脇往還」と呼ばれるようになった。歴史あるまちなみが残る木之本宿で北国街道から分岐し、関ヶ原で中山道へとつながる。かつて名古屋、江戸方面へ向かう旅人が鳥居本宿を経ずに関ヶ原宿に向かう近道として賑わった。

現在の国道365号線からむように走るこの街道は、アップダウンも少なく、交通量の多い国道を外れば車は減り、走りやすい。